

## 紙芝居「戦争と狛江の子ども達」 中央公民館「つどい」にて

日 時：3月25日 午前中3回実施

場 所：中央公民館講座室

○観客30人+主催者7名の合計37名。内、子ども9人・5家族が紙芝居を観た。アンケートは15通寄せられ、戦争の様子が分かった、紙芝居を継続して欲しいとの感想がほとんどであった。

○感想のいくつかを紹介する。

- ・昭和12年生まれの父から聞いていたエピソードが出てきました。
- ・戦争によって今自分たちが暮らしている狛江にどのようなことが起こりどのような影響があったのか、子どもたちにも分かりやすく伝わったのではないかと思います。
- ・もっと子供に戦争の事を伝えていきたいと思いました。
- ・もうこんなせんそうはしたくないと思った。(小学生)
- ・すばらしい上演会、ありがとうございました。太平洋戦争時の狛江村の様子がとても良く分かりました。ウクライナ侵攻の現在と重ね合わせ、平和の大切さを噛み締め、多くの方々にも見せてあげたいと思いました。
- ・知らないことが多く、紙芝居と語りで分かりやすく聞くことができました。子どもたちにも戦後に生まれた私たちも、もっと知らなければならないことと思います。
- ・紙芝居「戦争と狛江の子ども達」を初めて見ました。井上先生(元狛江第1中学校長)たちの戦争を風化させない、子どもたちに伝えていくという思いに感動しました。この思いに、私たちも頑張らなくてははいけませんね。

○実演者はこの日の希望者を入れて、13人となった。

